

我が母校 西中学 印 齋

自立貢献～世の光になろう～

令和2年7月22日発行

学校再開から一月

校長 鈴木 祥仁

6月15日(月)から一斉登校がスタートした学校もようやく1ヶ月余りが経過しました。職員室にいと、休校中静まりかえってきた校舎から、生徒の明るい声が聞こえうれしく感じる一方、新型コロナウイルスは完全に消えることはなく、いつまた休校の可能性があるかもしれない不安との戦いが続いています。それでも、生徒達は長い間の休校生活から何とか学校生活へのリズムを戻そうと毎日懸命に頑張っています。そんな生徒の期待に応えるべく、少しでも元通りの生活に移りたいところですが、当分の間は今の生活様式が続きます。今後も状況を見ながら、感染防止策を工夫し、活動の幅を徐々に広げていきたいと考えています。今年度は、部活動に取り組んできた三年生にとって集大成となる総合体

育大会、コンクール、発表会などが全て中止となりました。3年間、部活動に励んできた3年生にとっては大変なショックだったと思います。無念さが残ります。しかし、それでも前を向き、最後までやり抜こうとしている3年生に心から拍手を送ります。これまで培った技術や精神力は一人一人に身につけているはずです。練習の成果を発揮する場はなくなつたかもしれませんが、その力をこれからの学校行事や進路に生かしてほしいと思います。

キャリアパスポート

今年度から全国の小・中・高で一斉にキャリアパスポートの導入が始まりました。節目の学級活動や特別活動において、子供達は、自身の変容や成長を自己評価し、未来の自分のために、高校卒業まで継続してその作成に取り組んできます。自分らしく豊かな人生を歩んでいくために、キャリアパスポートを積極的に活用し、主体的に判断して自身のキャリアを創造していきます。

生徒総会

令和二年度生徒総会が行われました。生徒会本部役員をはじめ各委員長、部活動の部長は、この生徒総会に向けて十分な準備をして臨みました。前年度の活動報告と決算、今年度の活動方針、各委員会・部活動の年間計画案などが提示、事前に質問された内容に答え、承認されていくという流れで会が進行しました。

今年度は新型コロナウイルス拡大防止のため、校内放送にて実施し、承認方法については、各学級の委員長が過半数の賛成があるかを確認し、各学年フロアの廊下の窓から職員室に札で合図を送る形を取りました。初めての試みで生徒会本部役員を中心に苦労が多かったと思いますが、校内放送だからこそ集中して取り組める最高議決機関にふさわしい生徒総会になりました。



困ったときは相談しましょう。
スクールカウンセラー 田代裕子
原則、木曜日に勤務しています。
セクハラ相談窓口担当
教頭、養護、倉持、高木、小林
フェックナー、スクールカウンセラー
体罰いじめに関する相談窓口担当
教頭、小山、吉田、小林、養護、石田
スクールカウンセラー

令和二年度生徒会活動の重点目標は「誇れる印西中」(挨拶・自主性・協調性)。生徒会長の畔田さんは校内放送で「目標は生徒一人一人がみんな意識して行動することに意味がある」と力強く語っていました。生徒会活動が、いよいよ本格的に始動していきます。

